

記事

○ 水戸三高の校内文化発表会が6月20日（金）に開催されました。その内容を特集してお届けいたします。

1 校内文化発表会 実行委員長（3-1 小野寺リナ）より

今年の校内文化発表会では、仲間と協力して一つのものをつくり上げる大変さと、その分の達成感の大きさを実感しました。準備の段階では、何度も話し合いを重ね互いを支え合うことで少しずつ形になっていきました。限られた時間の中で練習や作業を進めることは簡単ではありませんでしたが、それぞれが自分の役割を果たしながら、全体の完成に向かって努力していた姿がとても印象的でした。本番当日は緊張しながらも、みんなの力が一つになった瞬間は忘れられない思い出です。発表を終えた時の達成感と、会場からの拍手の温かさは今でも心に残っています。この行事を通して、仲間と支え合いながら一つの目標に向かって進むことの大切さを学びました。学年やクラスを超えて繋がることができた貴重な行事になって良かったです。文化発表会で得た経験や成長を、これからの学校生活にも活かしていきたいと思います。

2 音楽科

○ オープニングを飾ってくれたのは音楽科です。素晴らしい音色と心地よい演奏を発表してくれました。さまざまな曲調やそれに合ったパフォーマンスもあり、会場を大いに盛り上げてくれました。そんな音楽科の各学年責任者にコメントをいただきました。

3年M組

発表では、ミュージカル『アニー』より「トゥモロー」を歌いました。『アニー』の物語は、孤児のアニーが希望を捨てずに生きる姿を描いています。今回、その物語を3Mバージョンにアレンジし、生演奏も取り入れるなど音楽科の魅力が伝わるように工夫しました。M組は14人と、普通科や家政科に比べて人数が少なく、声量やステージ演出など、少人数ならではのさまざまな困難がありましたが、本番ではこれまでの中で一番良い合唱ができたと思います。今回の校内文化発表会を通じてクラスの絆が深まり、今後の受験や卒業演奏会でも今回の経験を活かし、3Mらしく全員で乗り越えていきたいと思っています。



（3-M 浅野未奈実）

2年M組

私たちのクラスでは、東京ディズニーシーのショーで行われている『ビック・バンド・ビート』から『Sing・Sing・Sing』と『Swing しなけりゃいみないね』の2つを演奏しました。練習では、時間内に収めるためにどこをカットするか、歌詞が全て英語だったため、発音やリズム感、英語独特のどこを短縮して言うのか、などをみんなで何回も聴きながら確認しました。また、英語の歌詞を暗記するのも難しかったです。そしていざ、演奏と歌を合わせるとなった時も、吹奏楽部の人がいったり、放課後に自分の専攻の練習をしている人がほとんどだったので、日にちを決めて合わせるのが大変でした。そんな数少ない中でも1回1回を大切になるべく多く合わせ、一体感を出そうと思いました。みんなで意見を出し合いながら練習した成果が本番に現れたのではないかと思います。クラスみんなの笑顔がみられて良かったです。



(2-M 根本真緒)

1年M組

初めての校内文化発表。最初の頃はみんな何をしたら良いのか分からずとても戸惑うことがありました。しかし案を出し合っているうちにこんなことをしたいということがまとまってきました。ただ、リハーサルでは思うように動きなどが確認できませんでした。移動の仕方や人の配置など細かいところが全然決まっていなかったからです。そのあとはそれらの反省を活かし本番まで本気で練習をしました。当日、私たちは他のクラスの演技を見て「ヤバいんじゃないか。」と思い、人の配置などの大幅な改良をしました。その方がいいと瞬時に判断したからです。そして本番まさかの事件が起きました。ピンマイクにピンがついてなかったのです。さらに、開始直後マイクトラブルがあり、少し焦ってしまいましたがなんとか最後までやり切ることができました。そして、なんと優秀賞をいただきました。協調性を高められるとても良い経験になりました。



(1-M組 松本花音)

3 家政科発表

○ 続いての発表は家政科ファッションショー。体育館を存分に使用したランウェイは圧巻のステージでした。それぞれが自作で衣装を制作しテーマに沿ったデザインや色使いが印象的でした。家政科の責任者にコメントをいただきました。

家政科

ファッションショーを終えて、改めて3Kのみんなの仲の良さを実感しました。また、1・2年生のサポートがあったからこそ、無事にやり遂げることができたと思います。不安や大変なこともたくさんありましたが、周りの支えがあったからこそ乗り越えられました。分からないことも多く、頼りないチーフだったかもしれませんが、そんな私についてきてくれた家政科のみんなには感謝の気持ちでいっぱいです。衣装制作を進めながら全体を見て動くのは大変でしたが、それだけ達成感も大きかったです。ファッションショーは家政科の大切な伝統なので、これからも代々受け継がれていってほしいと思います。このショーを通して、改めて家政科に入ってよかったと感じました。辛いときに支えてくれた先生方や友人、家族、そして家政科のみんなに心から「ありがとう」を伝えたいです。



(3年K組 大高詩織)

4 クラス発表

○ クラス発表は次の通りです。代表クラスの発表責任者にコメントをいただきました。

前半の部		後半の部	
クラス	企画名	クラス	企画名
2-M	Disney ~Big Band Beat~	3-3	A K T.
1-5	アイドル目指しちゃだめですか？	3-6	テルンツェル
2-5	アイドルメドレーステージ	3-K	鬼滅の刃「無限裁縫編」
2-3	ハッピーウェディングソング♡	1-2	1-2 だけじゃだめですか？
2-4	ディズニーメドレー	2-2	塔の上のラプンツェル～2の2ver～
1-4	クラスの様子	1-3	☆トリコ☆ 伝説の Dance battle 三高の Nissy は君だ！
3-1	ディズニーメドレー	2-K	わたしたちのシンデレラ♡ステージ
3-4	となりのトトロ	3-M	Tomorrow
1-K	花より良道。	1-6	OVR STAGE
3-5	アラ雪	1-1	嵐
2-1	青春メドレー	1-M	アナと雪の女王～M～
2-6	2-6 のドラえもん	3-2	Are Y

3年1組

今年の文化発表会では、「ズートピア」と「リメンバー・ミー」の歌を披露しました。前日まで歌や振り付けが揃わず不安もありましたが、本番では全員が笑顔で力を出し切り、大成功となりました。準備はギリギリで大変だったけれど、その分クラス全員で作上げた達成感がより大きく感じられ、とても楽しい思い出になりました。みんなで支え合いながら、本番を迎えられたことをうれしく思います。この経験を通して、仲間の大切さや一緒に何かを成し遂げる喜びを改めて感じました。



(3年1組 菅谷真麻)

3年2組

文化発表会で「学園天国」を歌って踊ったことで、楽しく充実した時間を過ごすことができました。この曲は明るくテンポが良いため、自然と笑顔になり、練習のときからみんなとの団結力も強まりました。最初は振り付けや歌詞を覚えるのが大変で、何度も間違えて落ち込むこともありましたが、練習を重ねるうちに少しずつ自信がつき、本番では元気よくパフォーマンスすることができました。会場から手拍子や笑顔が見えたときは、本当に嬉しくて達成感でいっぱいになりました。クラス全員で協力して作り上げたステージは、一生の思い出になると思います。今回の経験を通して、努力することや仲間と支え合う大切さを改めて感じました。



(3年2組 佐藤凛)

2年1組

私が校内文化発表を終えて感じたことがあります。まず各クラスで行った練習のことです。最初は新しいクラスになったばかりということもあってなかなかまとまらず声も出なくて正直不安しかないスタートでした。途中で数人がダンスをやることが決まるなど本番までにちゃんと仕上がるのか楽しみよりも不安が大きく焦っていました。しかし実行委員を中心に声をかけ、日を重ねるごとに団結力が高まっていきクラスとして1つにまとまることができました。そしてついに迎えた本番では大勢の前で緊張感が高まる中今までで一番よかったと思える発表を披露することができました。私はこの文化発表会を通してクラスの一体感が生まれたと思うし、先生を含めクラスの人全員と団結するという高校生ならではの貴重な経験ができてよかったと感じました。これからもっとクラスの仲を深めより良い2-1にしていきたいです



(2年1組 飯村結菜)

2年4組

文化発表会で2年4組の38名でディズニーメドレーを披露しました。準備段階では、より良い発表ができるように歌やダンス、衣装など、細かな部分までみんなで意見を出し合いながら進めました。本番までクラス全員で練習する時間が限られていたので、焦る気持ちもありましたが、成功させようという気持ちを一つにして練習に励みました。発表会で披露した「Let it go」では、オラフの着ぐるみやスヴェンの被り物が登場し、客席からは大きな笑いと拍手が起きました。そして、ステージ全体が2年4組らしい明るさと団結力に包まれました。客席のみんなが喜んでいる姿を見て、練習した成果を発揮することができたと実感しました。みんなで協力して一つのものを作り上げることができ、達成感や満足感を得ることができました。



(2年4組 大山大翔)

1年4組

校内文化発表会を振り返って、高校が始まったばかりで初対面の人たちが沢山のクラスで最初は不安だったけれど道具や発表内容を考え、案を出してみんなで協力してひとつの事に取り組むことでみんなの仲の良さが深まったと思います。関わったことのない人とも話することができたり、楽しく素敵な思い出が作れたと思います。みんなにとっていい思い出にもなったし私自身もすごく楽しく忘れられない思い出となりました。9月には、クラスマッチもあるのでそれに備えて、一致団結の経験ができて良かったです。この勢いでクラスマッチもクラスの人々と協力し、ひとつの事に向かって頑張ろうと思います。今回の文化発表会ではみんなでひとつの事に向かって取り組むことの大切さ、すばらしさを学ぶ機会となりました。



(1年4組 大竹凜音)

1年5組

校内文化発表会は水戸三高に入学して初めてのイベントで、とてもワクワクした気持ちで参加しました。私達のクラスは、最初に決めたストーリーや曲を途中で変更し、また一から考え直すなど、なかなかスムーズに行きませんでした。しかし、思い返すとみんなで話し合い、仲を深めるきっかけになったなと思います。本番に向けてみんなで練習を重ね、当日にはクラスみんなが今までで一番いいパフォーマンスをすることができました。また、同じ学年のクラスの人たちや2・3年生の先輩方のパフォーマンスもとても素晴らしく、歌や劇で楽しい、面白い、感動など、様々な感情があふれてきました。家政科のファッションショーや各部活動も会場全体が盛り上がり、最高の思い出となる一日でした。来年は校内文化発表会最後の年なので、悔いを残さず、団結力を深められるように頑張りたいです。



(1年5組 小澤瑠南)

5 部活動企画紹介

コーラス部

私たちコーラス部は、NHK 全国学校音楽コンクールの課題曲である惑星そぞろ、みやこわすれ、Hail Holy Queen、soranji を演奏させていただきました。短い練習期間で不安な部分もあったけれど、部員全員が全力で楽しんでくれました。生徒の皆さんも暑い中、私たちの演奏を聴いてくれてありがとうございました！本番に向けての練習の中で私たちは様々なことに挑戦しました。惑星そぞろは拍子の変化が難しい曲なので、詩の意味を考えながら何度も練習しました。みやこわすれでは、静かな哀しみを表現するために強弱や声の出し方を工夫しました。Hail Holy Queen と soranji は、最初は2、3年生の演奏だったけれど、1年生も途中から練習を始めてより会場を盛り上げてくれました。7月と8月には大切なコンクールがあります。今回の経験を活かし、さらに練習を重ねて良い結果を出せるように頑張りたいと思います。



(2年3組 片渕若葉)

ダンス部

「La Briller」（フランス語で“輝く”）という意味を持つテーマのもと、2月から準備を始め、本番に向けて真剣に取り組んできました。私たちダンス部は創作ダンスが中心なので、振付けやフォーメーションを決める段階から意見を出し合い、何度も練習を重ねて完成度を高めていきました。全員で活動できる最後のステージだったこともあり、細かい部分にまでこだわり、大変な中でも楽しく、前向きに取り組むことができました。本番の幕が上がったときは、これまでにないほどの感動があり、大きな拍手と声援をもらえたときは、「ここまで頑張ってよかったな」と心の底から思いました。この経験は、仲間と1つの目標に向かって努力することの大切さを教えてくれて、3年間の高校生活の中で1番の宝物になりました。



（3年2組 青山未来）

軽音楽部

文化祭では軽音楽部としてバンド演奏を披露し、全校生徒に聴いてもらえる貴重な機会となりました。限られた練習時間の中で、メンバーと協力し合いながら音を合わせ、緊張しつつも楽しく演奏できました。準備時間20分の予定が、時間が押してしまい15分になり、結局準備に時間がかかってしまうというハプニングがありましたが、観客の手拍子や歓声に背中を押され、音楽の力や仲間と作り上げる楽しさを改めて実感することができました。反省点もありましたが、それ以上に達成感が大きく、今後の活動の励みにもなりました。校内文化発表会を通して、皆さんの青春を音楽で盛り上げることの喜びと準備に協力してくれた軽音楽部の仲間の大切さを深く感じることができました。

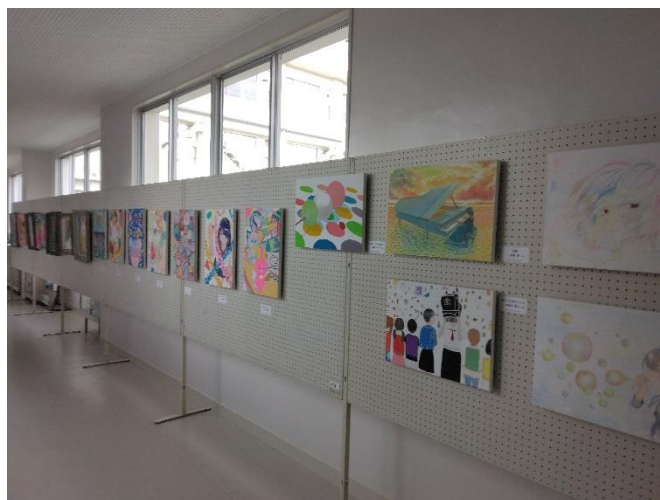


（3年5組 井上愛澄）

6 文化部発表

美術部

今回の校内文化発表週間では私たち美術部は「カラフル」をテーマに、部員それぞれの感性が光る作品を展示しました。かわいらしいものからおしとやかな作品、あるいは個性的な色彩を放つものまで、彩り豊かな空間となりました。友人や先生方から「色使いが綺麗」と褒めていただけたことはとても嬉しかったです。中には「これ、私の友達が描いたんだよ」と紹介してくれた子もいて感激しました。1年生が初めての展示を楽しんでくれたこと、2年生が2度目の経験で手際よく準備を進めてくれたことも、本当に良かったです。3年生にとって、今回が最後の活動となり、寂しさを感じています。しかし、同時にそう思えるほど充実した思い出を作ることができたことを誇りに思います。多くの人に展示を楽しんでいただけて、本当に嬉しかったです。



(3年3組 柳下葵)

漫画研究部

漫画研究部では、「童話」を題材とした作品の展示を昇降口にて行いました。各部員の作品をイラストボードにて展示したところ、早速多くの生徒たちが足を止め、たくさんの嬉しい感想を伝えてくれました。中には、一つ一つ絵をじっくりと鑑賞してくださる方もおり、自分の作品を見てもらえる喜びや、このように展示する機会をいただけることのありがたさを、改めて実感しました。また、今回は新入部員との初の共同作業でもあり、活動を通して互いのことや、漫画研究部ならではの取り組みについて、より深く知る良いきっかけにもなりました。これらの貴重な経験を糧に、今後も部活動の充実と制作活動に一層励んでいきたいと思います。



(2年4組 邊見環)

写真部

今回の校内文化発表会では、昇降口前に写真を展示することになったのでどのようにすればより多くの人に見てもらえるかを考えて写真を選びました。写真の1番の魅力は日々の瞬間を永遠に残せることだと思います。一瞬の表情や、光、空気感を切りとって記録することができ、見返すことでその瞬間を鮮明に蘇らせることができます。なので、作品全体の題名を「瞬間の美」にしました。また、その他の写真の魅力は、感情を伝えられることだと思います。言葉がなくても、写真は感情やストーリーを伝えることができます。展示の工夫点としては、ひとつのパネルにあまり多くの写真を展示しないようにしました。

これからの作品制作でも、普段の何気ない日常の一瞬を角度や光の反射、構成などを工夫して切り取り自分だけの作品を作っていきたいです。



(3年5組 加倉井一菜)